

第3回千葉県銚子市沖における協議会

事務局説明資料

(海底ケーブル敷設ルートに係る区域と
本区域の想定出力量について)

2020年6月4日

経済産業省資源エネルギー庁

国土交通省港湾局

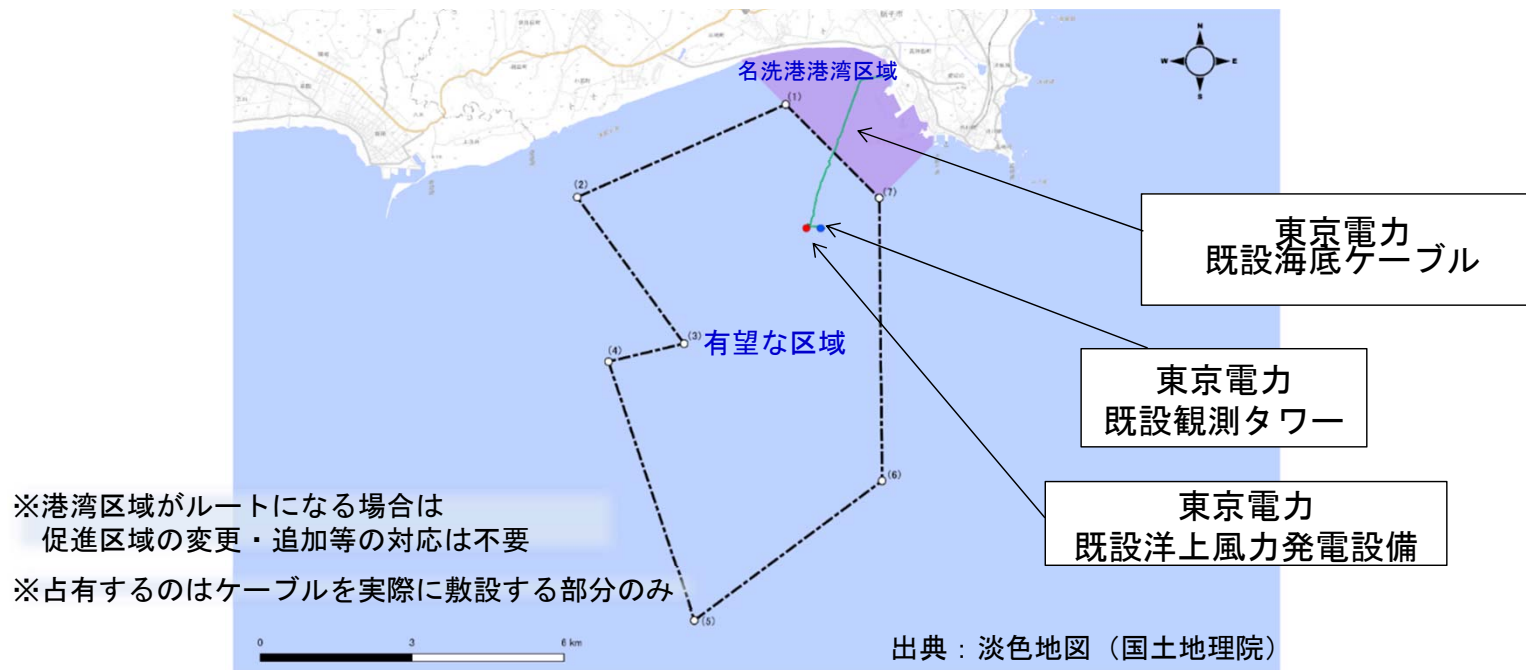
千葉県

海底ケーブル敷設ルートに係る区域について

1

- 洋上風力発電設備から電力系統に接続するための海底ケーブルの敷設ルートについて、公募前の段階では利用が想定される電力系統が複数あり、事業者によってケーブル敷設ルートも異なり得るため、公募終了後に選定事業者が系統連系点、地形等を勘案しつつ、関係者との協議を行った上で決定される。
- このため、現在の銚子市沖の有望な区域は、基本的に洋上風力発電設備が設置される区域のみ含まれ、海底ケーブルの敷設ルートに係る部分は含まれていない。
- 一方、安定的な発電事業の実施を確保するためには、海底ケーブル敷設部分も促進区域として指定し、長期の占用を認めることが重要である。以上を踏まえ、海底ケーブルの敷設ルートに係る区域については、公募で事業者が選定された後、本協議会において必要な調整・協議を実施した上で、促進区域の変更・追加等の対応を行うこととしてはどうか。

<現在の有望な区域の状況>



- ### ＜試行的な取り組みの対象エリア＞ （ノンファーム型接続）



国／海域	容量密度 ^(※) (MW/km ²)
ベルギー	11.8
ドイツ	6.5
オランダ	6
イギリス	4.8
デンマーク	4.3

出典：Federal Maritime and Hydrographic Agency (BSH) (2018)
 “CAPACITY DENSITIES OF EUROPEAN OFFSHORE WIND FARMS
 (by Deutsche WindGuard GmbH)”